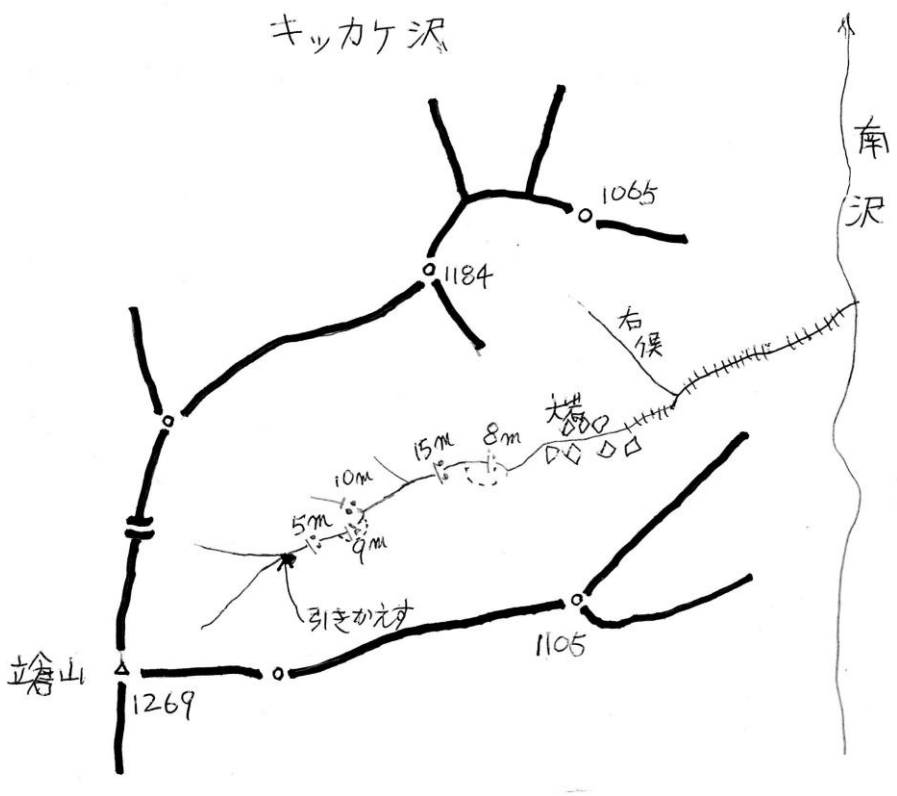
枝折峠

保科　勝人

袖沢合宿参加の為、台風が来ると言うのに妻を誘って奥只見に来た。長いトンネルを抜けダムまで来るも小雨は止まず、夕方発の若松のメンバーに現地様子を伝え銀山平に向かう。キャンプ場で断られ、意気消沈して泣沢で幕営しようとシルバーラインに向かったが間違えて枝折峠の道に入ってしまった。間違えに気づき、戻ろうとしたが半世紀前の想い出が登り続けさせる。連続する急カーブにうんざりするころやっと峠に着く。

初めての越後駒はこの峠から始まった。峠から頂上に至り、荒天の前触れに小屋のご主人の勧めで幕営を諦め小屋泊まりとなった。狭い板張りの小屋であったが懐かしい思い出である。翌朝、髭のオヤジと記念写真を撮り、駒の湯に無事下山した。写真の中のオヤジは天国だろうか？あの時のメンバーはかわいいじじばばになっているだろうか？峠のバス停は今も残っていた。春の前〇を越え荒沢～中の岳～駒と馬蹄形の縦走、最近では未丈と〇〇山

私の山はやさしい思い出に溢れている。